

## IV 小・中連携部会

# 第一中学区

### 1 はじめに

9年間を見通した児童生徒の育成について、「一中学区の児童生徒を共に育てるための小・中連携はどうあればよいか」というテーマに基づいて研修した。昨年度までの協議から、一中学区の子どもたちの課題は「人間関係づくり」にある、との共通理解がされており、連携研究会では主としてコミュニケーション能力の育成を図る実習・研修をおこなった。

### 2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
5月17日	第1回連携理事会	6月28日	第2回連携理事会
6月28日	小・中連携研究会（城南小）	11月 1日	6年生の一中体験入学

### 3 活動の実際

#### (1) 小・中連携研究会（会場：城南小学校）

##### ① 授業参観

城南小学校において、昼清掃の様子から5校時の授業までを参観させて頂いた。縦割りグループによる熱心な清掃への取組に始まり、授業での児童を引き付ける事象提示や発問、児童を十分に活躍させる授業構成の在り方など、多くの面で参考になるものであった。



【授業の様子】

##### ② 研修（弘前医療福祉大学 准教授 小玉有子先生による講義・演習）

『社会で自信をもって活躍できる子どもたちに育てる』～コミュニケーション能力の育成～という演題で、講義・演習をしていただいた。児童生徒を育てるために、子どもが抱える課題を明確にすること、教師が育てたい子どもの姿を具体化すること、目標実現のために教師自身がスキルを獲得することが必要であることがわかった。



【研修の様子】

演習では、ペアやグループをつくり、様々なテーマでコミュニケーショントレーニングを行った。声の調子や態度による非言語コミュニケーションの大切さや、相手の気持ちを考えて接することの大切さを感じ取ることができた。

#### (2) 6年生の一中体験入学

来年度入学予定の4小学校の児童が一中を訪問した。授業参観を経て、中学1年生の企画による集会に参加した。集会では、1年生の有志生徒による寸劇や、児童生徒がグループになったのゲームなどが行われ、明るい雰囲気での交流することができた。

### 4 おわりに

昨年度から、小・中連携研究会では分科会を設置せず、小・中学校の教員がランダムにグループを作って協議や演習をするスタイルになっている。今年度は様々なテーマでのコミュニケーショントレーニングが中心であったが、話し合いの中では、各校での特色ある取組や卒業生（新入生）に関する情報交換等もすることができた。今後も、連携して育てる意識を共有していきたい。